

令和元年度 田尻さくら高等学校 学校評価 補足資料

学校評価の意義

(高等学校に準用)

小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。
[学校教育法第42条]

回収率

生徒:昨年度78%→今年度76%(1年次73%, 2年次84%, 3多年次74%)

生徒の回答方法については、空欄が無く裏面もしっかりと記されていたので、今年も細やかな指示があったと推測される。

保護者:(H27)48%→(H28)65%→(H29)59%→(H30)64%→(今年度)51%

郵送で配付率は100%であるが、回収については、今後、工夫して回収率を上げていきたい。

教員:(H28)85%→(H29)100%→(H30)100%→今年度100%

今年度も回答数が100%と完璧な数値となった。

肯定的評価(%):=「1よく当てはまる」+「2だいたい当てはまる」

(%)

校訓・教育目標	2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生3 校訓を知っている。[本校の校訓 (1) 自律 (2) 進取 (3) 誠実]	65	79	-14
保1 「教育目標」を理解している。	94	90	4

学習指導	2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生5 田尻さくら高校の特色である少人数授業は、授業内容を理解するのに役立つ。	97	96	1
生12 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	87	89	-2
保2 田尻さくら高校は子どもの教育に熱心に取り組んでいる。	94	90	4
保5 お子様は、学習の仕方や内容を身につけている。	76	70	6
保6 田尻さくら高校の特色である少人数授業は、授業内容を理解するのに役立つ。	99	97	2
保12 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	89	92	-3

生徒・保護者は少人数による授業が、授業内容の理解に役立っていると感じている。今後とも一人ひとりの学びの状況をきめ細かく把握し、手厚い授業の実践が必要であると思われる。
しかしながら、その実態は、定員に対する入学者の割合が少ないことが少人数教育につながっている。

図書館の利用	2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生6 図書館は利用しやすい雰囲気である。	82	84	-2
保7 お子様たちの学習や読書活動に図書館が役立っている。	71	73	-2

図書館については、生徒の肯定的評価が毎年8割を超えており、生徒の教育に大変寄与していると思われる。司書から利用マネーも良く、また、科目履修生も盛んに利用していると報告を受けた。
今年度4月から11月までの生徒図書貸し出し数は、954冊(生徒376冊、科目履修生266冊、教員312冊)である。
H30年度は、1147冊(生徒442冊、科目履修生270冊、教員435冊)である。

生活指導	2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生7 生徒指導は、社会常識を踏まえており、適切である。	88	89	-1
保8 生徒指導は、社会常識を踏まえており、適切である。	91	88	3
生13 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	91	93	-2
保13 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	87	88	-1

挨拶については、教職員が授業や廊下等で生徒や科目履修生に挨拶をし続けている結果が生徒に伝播し数字として反映されていると感じる。保護者の意見にもあるように、挨拶は社会に出たら基本となるものなので生徒からもどんどん積極的に出来るように指導して行かなければと思う。マナーについても、公共の場におけるルールを継続的に粘り強く生徒に伝えていくことが肝要であると考えます。

愛好会活動	2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生16 愛好会活動は活発に行われている。	76	82	-6
保16 愛好会活動は活発に行われている。	65	71	-6

肯定的評価が昨年度よりもダウンしたが、一昨年度(生徒54%, 保護者63%)の数値よりは上回っている。前期・後期の募集の案内やオリエンテーション等で生徒に活動の大切さを意識させていく必要がありそうだ。

自治会活動	2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生17 自治会活動は活発に行われている。	78	81	-3
保17 自治会活動は活発に行われている。	71	85	-14

今年度は自治会の活動が保護者になかなか伝わっていないようだ。(一昨年度保護者80%)

学校行事	2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生18 球技大会や高校祭、講演会など、有意義な学校行事がある。	92	93	-1
保18 球技大会や高校祭、講演会など、お子さんにとって有意義な学校行事がある。	94	93	1

進路指導		2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生8	進路に関する資料はわかりやすい。	90	92	-2
生14	進路志望別見学会や進路講話など、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	92	97	-5
保9	進路に関する各種情報が適切に提供されている。	83	93	-10
保14	進路志望別見学会や進路講話など、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	90	94	-4
本校の進路指導全般について、生徒・保護者から高評価であった。保護者に各種情報が適切に伝わっているかどうか、今後確認していかねばならないと感じる。				

生徒の健康管理		2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生9	保健室は利用しやすく、自分の心身の健康管理に役立っている。	77	83	-6
保10	学校としてお子様の心身の健康管理に努めている。	89	84	5

生10	日常の清掃活動にまじめに取り組んでいる。	80	83	-3
保11	学校として日常の清掃活動がなされており、衛生的である。	95	94	1
生徒の保健室の利用について、今年度は4月から10月までで1751数と昨年度利用数1202を大幅に超えている。自分自身の健康管理について日常から考えていくことが大切であると感じる。 清掃活動への取り組みについては、挨拶やマナーと同様、SHRの指導時間の工夫とともに粘り強く指導していかねばならない。				

災害時の避難・連絡		2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生11	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	89	90	-1
保20	保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	96	84	12
災害・非常時の安否確認メールの練習やすまいる園との合同避難訓練は生徒の防災に対する意識付けに役立った。いつ災害が起こるか分からないことから、今後とも教職員が防災に関する意識を高く持つことが大事であり、常時防災マニュアルを確認する必要がある。保護者の回答も肯定的な回答(96%)が高く、前年を12ポイント上回っている。				

特色ある学校づくり		2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生19	田尻さくら高校は、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	83	87	-4
保19	田尻さくら高校は、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	91	89	2

学校の情報		2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生20	保護者に対して、田尻さくら通信やさくらメールなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	90	90	0
保21	保護者に対して、田尻さくら通信やさくらメールなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	98	95	3
HP、メール配信、そして、さくら高通信等を通して、保護者や地域に学校の情報が適切に伝わっている結果がしっかりと反映されている。				

校舎等の施設設備		2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生21	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整っている。	89	83	6
保22	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	86	93	-7

教育相談		2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生15	教員やカウンセラー、ソーシャルワーカーが必要ときに相談に応じてくれる体制ができています。	85	87	-2
保15	教員やカウンセラー、ソーシャルワーカーが必要ときに相談に応じてくれる体制ができています。	94	95	-1
SC、SSWを通じ、教育相談・特別支援委員会や精神保健研修会等で教育相談体制も共有され適切に活用されている。				

いじめの早期発見・共有		2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生22	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	78	71	7
保23	学校と保護者が、いじめ問題に対する取組方針を共有している。	77	76	1
いじめに関する指導については、日頃から授業、SHR等を利用して今後とも常時把握に努め、職員間でしっかりと共有する必要がある。				

PTA活動		2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
保4	PTA活動は活発であり、積極的に参加している。	36	46	-10
PTA活動については、活動の評価と保護者自身の「積極的な参加」についての自己評価があるので、否定的評価の割合が高いのは当然であろう。しかしながら、現状をしっかり把握した上で、総務部の先生方を中心とした働きかけが今後も必要であろうと思われる。今年度発行したPTA通信は、保護者に届いているだろうか、保護者面談等を利用して確認する必要がある。				

学校生活の充実度		2019 肯定的評 価	2018 肯定的評 価	前年比 +肯定的 -否定的
生4	田尻さくら高校に入学して良かった。	84	85	-1
生23	学校生活はとても充実している。	77	76	1
保3	お子様を田尻さくら高校に入れてよかった。	100	94	6
保24	お子様の学校生活は充実している。	86	80	6
この評価を提出された保護者すべてが「田尻さくら高校に子どもが入学してよかった」との回答より、子どもの様子を介して本校の教育活動に肯定的な評価が下されたと判断できる。今後ともきめ細やかな指導を一つ一つしっかりと職員で共有して生徒に還元していくことが肝要である。				